

第 42 回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会
第 54 回剣道大会開催要項
第 45 回全国スポーツ少年団剣道交流大会新潟県予選会
「公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業」

1 趣旨 地域スポーツの振興に伴い、各スポーツ少年団がそれぞれ活発な活動を展開している。この状況に即し、スポーツを愛好する団員が一堂に集い、日頃鍛えた技を競いながらお互いの交流を深めるとともに、団員の能力開発を目指す場とする。

2 主催 公益財団法人新潟県スポーツ協会 新潟県スポーツ少年団

3 共催 長岡市 長岡市教育委員会 公益財団法人長岡市スポーツ協会

4 後援 新潟県 一般財団法人新潟県剣道連盟 新潟日報社

5 主管 長岡市スポーツ少年団 長岡市剣道連合会

6 期日 令和4年10月9日（日）

7 会場 長岡市北部体育館
〒952-1325 新潟県長岡市東蔵王2丁目2-72 TEL 0258-24-6116

8 日程

開 場 午前 7：30 入場の際に検温、消毒を行う。

受 付 午前 8：00

審判、指導者会議 午前 8：30 審判、各団体の代表指導者は、必ず出席すること。

競技開始 午前 9：00 （開会式、閉会式は行わない。）

※申し込み締め切り後、参加状況により入場・受付時間及び試合開始時間の変更を行う場合がある。

なお、その場合は各参加団体に連絡する。

9 競技種別

(1) 団体戦

ア 中学生男子 団員5名 補員2名以内

イ 中学生女子 団員3名 補員2名以内

ウ 小学生 団員5名 補員5名以内 ※チーム編成については、別表参照

(2) 個人戦

ア 中学生男子 4名

| | | |
|---|-----------|----|
| イ | 中学生女子 | 4名 |
| ウ | 小学生5・6年男子 | 4名 |
| エ | 小学生5・6年女子 | 4名 |
| オ | 小学生4年以下 | 4名 |

10 表彰

- (1) 団体戦・個人戦とも1位～3位の入賞者には賞状、入賞メダル（新潟日報社寄贈）を授与する。
- (2) 個人戦ベスト8の者に敢闘賞を授与する。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から閉会式を行わないため、賞状の準備ができ次第、表彰する。

11 参加資格及び参加数

- (1) 令和4年度日本スポーツ少年団登録団員及び指導者。
- (2) 参加団員は団員章（ワッペン）を必ず着用すること。
- (3) スポーツ安全保険等に加入している者。
- (4) 個人戦と団体戦の選手を兼ねることができる。
- (5) 個人戦の出場は各部とも1単位団から4名までとする。
- (6) 団体戦の出場は1単位団1チームとし、小学生団体戦のチーム編成は別表のとおりとする。

[別表]

| | | | | | | |
|----|------|-------|----|----|----|------|
| 区分 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 指導者 |
| | 先鋒 | 次鋒 | 中堅 | 副将 | 大将 | |
| 学年 | 4年生 | 5・6年生 | | | | 有資格者 |
| 性別 | 男又は女 | 女 | 男 | 女 | 男 | |

※上記の学年は令和4年4月1日現在とする。なお、該当者がいない場合は、学年の下の者が、上位の学年区分に出場してもよいが、小学校4年生以上とする。ただし、男女の変更は認めない。

[例：中堅に小学校4年生の男子がエントリーしてもよい]

※チーム編成上で該当学年・性別の登録団員がいない場合は、他の単位団に属する団員の参加を認める。（複数の単位団で編成した混成チームを認める。）ただし、この場合は、必ず該当登録団員がいないことを確認するため登録確認用紙を添えて申し込むこと。

12 団体戦掲示用オーダー表の提出について

- (1) オーダー表のフォーマットを使用し、見本(1)(2)(3)のように参加選手名を記入してE-mailにて申し込み先に提出すること。
- (2) 団体名にスポーツ少年団の名称は省略すること。
団体戦（小学生）で出場団員が満たない場合、5、6年生及び4年生「男子」がいない場合は中堅を、5、6年生及び4年生「女子」がいない場合は次鋒を空欄とする。このほか、先鋒の4年生がいない場合は、先鋒のみ空欄とする。

見本（1）

| 小学生の部 | 先 鋒 | 次 鋒 | 中 堅 | 副 将 | 大 将 |
|-------|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|-----|-----|
| 団体名 | ※4年生赤くない場合空欄 田中 | 5、6年生及び 4年生「女子」が いない場合空欄 | 5、6年生及び 4年生「男子」が いない場合空欄 | 佐藤 | 吉田 |

団体戦（中学生男子）で出場団員が満たなく、4名となる場合は次鋒を空欄、3名となる場合は次鋒と副将を空欄とする。

見本（2）

| 中学生男子の部 | 先 鋒 | 次 鋒 | 中 堅 | 副 将 | 大 将 |
|---------|-----|----------------|-----|--------------|-----|
| 団体名 | 田中 | 3、4名の場合は 空欄 | 佐藤 | 3名の場合は 空欄 | 吉田 |

団体戦（中学生女子）3人制で出場団員が満たなく、2名となる場合は中堅を空欄とする。

見本（3）

| 中学生女子の部 | 先 鋒 | 中 堅 | 大 将 |
|---------|-----|--------------|-----|
| 団体名 | 田中 | 2名の場合は 空欄 | 吉田 |

1.3 申し込み方法

- (1) 単位団ごとに、所定の参加申込書に記入のうえ申し込むこと。
- (2) 参加申込書は下記へE-mailにより令和4年8月12日（金）までに申し込むこと。（期日必着）
- (3) 参加申込み受付後、後日、長岡市スポーツ少年団事務局より、受付完了のE-mailを送信しますので、受信出来る様に設定をお願いします。
- (4) 受付完了のメールが届いていない場合は、まだ申し込みが済んでいないので、長岡市スポーツ少年団事務局に連絡をお願いします。

〒940-0084 長岡市幸町2丁目1番1号 さいわいプラザ内
 (公財) 長岡市スポーツ協会 長岡市スポーツ少年団事務局 青柳・泉田
 TEL 0258-34-2130 FAX 0258-34-2170
 E-mail n-sposyo@n-spokyo.or.jp

- (5) 参加申込書にスポーツ少年団登録システムの帳票を利用し登録確認用紙（団情報、団員名簿、指導者名簿）を必ず添付すること。
- (6) 参加料の納入は、当日受付にて行う。ただし、参加申込の段階で予定している納入書を添付すること。
- (7) 申込みの時点で未登録者がいた場合は、その者は出場することはできない。

1.4 参加料について

個人戦 団員1名 1,000円（補員・指導者含まず）

団体戦 1チーム5人制 5,000円 3人制 3,000円（補員・指導者含まず）

納入は、新型コロナウイルスの拡大により、大会を中止する可能性があることから、当日納付とする。

1.5 競技方法

【 共通事項 】

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに剣道試合・審判細則、暫定的試合・審判法に準じて行う。
- (2) 団体戦、個人戦ともに、トーナメントを原則とする。
- (3) 試合時間は、3分とする。ただし小学生個人戦については、全て2分とする。
- (4) 団員交代については下記のとおりとする。

ア 団体戦については、申込み締切り後は特別な事情がないかぎり登録団員以外の選手を認めない。特別な事情で団員を交代する場合は、必要事項を記載した文書を会場地事務局に届け出て、指導者会議の了承を得るものとする。

イ 個人戦については、申込み締切り後は特別な事情がない限り団員交代を認めない。特別な事情で団員を交代する場合は、必要事項を記載した文書を会場地事務局に届け出て、指導者会議の了承を得るものとする。

ウ 団体戦について、大会当日、決勝戦まで1回に限り、性別・学年を厳守のうえ、補員登録団員の中から、交代することができる。その際、小学生については、参加資格に基づき、下位学年（四年生）の者が上位学年（五、六年生）の区分に出場してもよい。

- (5) 全国大会につながる小学生団体、中学生男女個人戦は、必ず監督を立ち合わせる。
- (6) 判定の要件は、新潟県スポーツ少年団剣道専門部会申し合わせ事項として、積極性及び姿勢態度も重視し、総合的に判断する。

【 団体戦 】

- (7) 小学生団体戦（準決勝・決勝を除く）・中学生男女団体戦について、時間内に勝敗が決しない場合は、引き分けとする。
- (8) 小学生団体戦の準決勝・決勝について、各ポジションにおいて時間内に勝敗が決しない場合は、1分間の延長戦を1回行ったのち、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- (9) 団体戦の試合が終了した時点で同勝者数・同本数の場合は、代表者戦を行う。
- (10) 団体戦の代表者戦の出場者は、小学生は団体の監督又は代表者が抽選権の抽選を行い、抽選権を獲得した団体が、中堅・副将・大将（団体に欠場者がいる場合は、欠場のポジションを除く）の中から、抽選により出場者を決定する。
- (11) 中学生男子・女子の代表者戦の出場者を団体の監督又は代表者が審判主任に申し出ること。

- (12) 代表者戦は、3分1本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は、2分間の延長戦を1回行い、決着のつかない場合は、準々決勝までは判定において勝敗を決する。
準決勝からは2分間の延長戦を3回行い、勝敗が決しない場合は、水分補給等の時間を5分設け、勝敗が決するまでこれを繰り返す。

【 個人戦 】

- (13) 小学生個人戦について、時間内に勝敗が決しない場合は、判定において勝敗を決する。
ただし、決勝戦のみ延長戦を行う。
小学生個人戦の決勝の延長戦は、2分間1本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は、2分間の延長戦は3回までとし、決着のつかない場合は、判定において勝敗を決する。
- (14) 中学生個人戦については、時間内に勝敗が決しない場合は、2分間1本勝負の延長戦を1回行い、決着のつかない場合は、判定において勝敗を決する。
ただし、中学生個人戦の決勝の延長戦は、2分間1本勝負とするが、時間内に勝敗が決しない場合は、2分間の延長戦は3回までとし、決着のつかない場合は、判定において勝敗を決する。

1.6 全国大会出場権について

- (1) 「小学生団体」「中学生男子個人」「中学生女子個人」の優勝団(者)は、**令和5年3月25日(土)～27日(月)に新潟県上越市「謙信公武道館(新潟県立武道館)」**で開催される、第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会に参加することができる。
- (2) 各種目とも参加の権利放棄があった場合は、次位の単位団(者)に参加権を移動する。
- (3) 上記に規定する以外の事情が生じた場合は、新潟県スポーツ少年団本部長が参加者の選考方法又は参加者を決定する。

1.7 審判員

- (1) 一般財団法人新潟県剣道連盟より委嘱、推薦された者とする。
- (2) 審判員はコロナウイルス感染症拡大防止の為、各自の審判旗を持参すること。
- (3) 審判員は印鑑を必ず持参すること。

1.8 役員

- (1) 試合場役員を別途参加団体に長岡市剣道連合会事務局から依頼する。
- (2) 役員は印鑑を必ず持参すること。

1.9 その他

- (1) 参加者は、必ず所属名を統一し、氏名を「垂(たれ)名札」に明記すること。統一されていない団は失格とする。
- (2) 団員章(ワッペン)を着用していない団員がいる参加団(個人戦を含む)及び単位団旗を持参していない参加団は失格とする。なお、失格となった場合でも参加料は返納しない。
- (3) 各自紅白の目印(タスキ)を必ず用意すること。
- (4) 参加団は、必ず単位団旗を持参のこと。

- (5) 組合せ等は、原則として主催者又は主管団体の責任で行う。
- (6) 各単位団の代表者は、当日の指導者会議に必ず出席すること。
- (7) 競技規則により行われる異議申し立て以外は慎むこと。指導者会議を含めた指示に従わない場合は失格とする。
- (8) 往復途上及び大会の疾病・傷害又は事故による医療費等は、参加者負担とする。
- (9) 申込期日に遅れた場合や申込書に必要事項未記入があった場合などは参加を受け付けない。
- (10) 参加申込書は、必要枚数をコピーのうえ使用すること。
- (11) 会場の都合により、時間に遅れが生じることがある。
- (12) 取得した個人情報は大大会運営上必要なプログラム編成及び作成・大会結果掲載にかかわること（掲示板・ホームページ・大会報告書・報道関係への提供等）、その他大会運営及びに大会開催に必要な連絡等のみ使用する。大会関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ・インターネットによって配信されることがある。大会申し込みとして申込書を提出した時点で、個人情報及び肖像権の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
- (13) 申し込み締め切り後、参加状況により入場・受付時間及び試合開始時間の変更を行う場合がある。なお、その場合は各参加団体に文書にて連絡する。

20 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する注意事項

- (1) 本大会は、全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」の一部を準拠するとともに「長岡市において定める感染拡大防止対策」等に基づき実施するので、各団体の指導者・団員・保護者に「同ガイドライン及び対策要領」等の内容について、周知徹底を図ること。
- (2) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、新潟県スポーツ少年団に速やかに報告すること。
- (3) 感染状況等によっては、大会を中止することがある。また、感染拡大防止のため必要な通知を別途行う場合がある。
- (4) 大会当日の受付にて、健康チェックシート・体温記録表（別紙1）及び参加者名簿（別紙2）を提出すること。
- (5) 各団体の指導者は「新型コロナウイルスの感染拡大が終息するまでの暫定的試合、審判法」を熟知するとともに大会までに選手に指導すること。
- (6) 当日、受付にて検温の際、37.5度以上の者は、入場できない。